

こんな公共施設が  
あったらいいな

しじょうなわて らいふ  
四條畷LIFE:2018年9月号 もくじ

【特集】未来を形作る計画を  
策定していきます …… 2  
学校施設の再編ってどうなっているの? …… 4

トピックス/大切なお知らせ

みんなの夢 AWARD in 四條畷  
エントリー募集開始/  
カルタ遊びで学ぶ 楠正行の物語 …… 6  
既存民間建築物の耐震診断補助制度/  
木造住宅の耐震改修補助制度 …… 7  
公的年金からの特別徴収制度 …… 8  
市税等は納期内に納めましょう …… 9

市役所からのお知らせ

■税・保険・年金 …… 10  
■健康・福祉 …… 11  
健康情報 …… 12  
■高齢者 …… 15  
■子育て・教育 …… 15  
子育て情報のページ …… 16  
平成31年度保育所(園)、認定こども園、  
小規模保育施設の入所申し込み受け付けについて …… 17  
■安全・安心 …… 18  
■環境・まちづくり …… 19  
■求人・産業 …… 20  
■人権・文化 …… 20  
なわての文化財 …… 24  
図書館だより …… 25  
■スポーツ・野外活動 …… 22  
第5回四條畷市マラソン大会  
ランナー募集! …… 26  
■その他 …… 27  
市民相談 …… 28  
消費生活センターだより …… 29  
みんなのひろば …… 30  
フォトニュース …… 31

つぎ  
■次のお知らせにはふりがながついてます。  
てれび であわ せつち しやせんよう  
◆テレビ電話を設置しました(手話専用) …… ①

# 未来を形作る 計画を策定していきます



## 公共施設劣化度診断調査ってどんな調査?

調査は①構造体と②建築物2種類を実施しました。

①構造体の調査では、建物躯体(骨組部分)のコンクリートの強度や酸化の有無を調べるため、コンクリート壁に穴を開けて円柱のサンプルを抽出し、圧縮強度試験と中性化深さ試験を行いました。



▲穴を開ける作業



▲採取したコア

① 構造体の調査手法  
② 圧縮強度試験

コンクリート壁に穴を開け、円柱のコアを採取し、コンクリートの強度を確認します。

## ⑥ 中性化深さ試験

コンクリートからアルカリ性が失われると、内部の鉄筋が腐食し、コンクリートのひび割れを起こすなどの劣化が進むため、中性化深さを測定します。また、測定の結果、中性化が進んでいる場合は、鉄筋の腐食状況を直接目視で確認します。



▲赤色が消えていると中性化が進んでいる

## ② 建築物の調査項目

点検部位		点検項目
屋上屋根	防水シートの劣化破れなど	
外壁	外壁の亀裂など	
外壁開口部	サッシのシーリングの劣化など	
外部その他	外部階段の亀裂など	
内部(室凸)	内装仕上げの剥離や亀裂など	
外構	舗装の亀裂や隆起など	
電気設備	機器の腐食・破損など	
給排水設備	機器の腐食・破損など	
空調設備	機器の異音・異臭・漏水など	
その他設備	機器の支障状況など	

建築・電気設備・機械設備の有資格者による目視等の調査を実施しました。

各施設の調査結果は、市ホームページ(左QRコード)から確認できます。  
なお、今回の調査では、新しい施設や明らかに老朽化が進んでいる施設などは調査の対象から除かれています。



続いて4,5ページで学校施設再編整備についてお知らせします。

## 施設再編のスケジュール

	平成29年												平成30年												平成31年		
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1月	2	3
公共施設	公共施設劣化度診断調査												市民ワークショップ(5回開催)												各地区との意見交換会		
	計画一部見直し												四條畷(中学校生徒・保護者アンケート)												計画策案作成		
	教育環境整備に関するアンケート												四條畷(中学校生徒・保護者アンケート)												計画決定		
学校施設	総合教育会議												学校施設劣化度診断調査												四條畷南中学校活断層調査		
													生徒・保護者それぞれと市長、教育長との意見交換会(7月2日、11日 2回 計35人参加)												学校適正配置審議会(諮問・答申)		
													地区・校区PTA、区長会、保護者との意見交換会(8月6日~26日 19回 延べ248人参加)												保護者・地域への周知		

# 学校施設の再編って どうなっているの？

全国の動向と同じく、本市も人口減少が進んでいます。特に小学校の児童数は、過去最多の昭和55年と比べ平成26年には約半数となり、四條畷南小学校や四條畷東小学校が、学校全体で6〜7クラスしかない小規模校となっています。

また、学校施設の多くは築50年ほど経過し、今後の更新が必要な時期を迎えています。

これらの課題解決のため、現在、本市では公共施設の再編とともに、学校施設の再編を進めており、平成29年1月から市長と教育委員会による「総合教育会議」を10回開催し議論を深めています。この度、市民団体の代表や市民等から構成される審議会に諮る案（下図）を絞り込んだので、その内容をお知らせします。

## 絞り込まれた案

- 配置校区について  
四條畷小学校・四條畷南小学校を存続させ、四條畷東小学校を四條畷小学校に統合し、四條畷南中学校を廃校
- 追加検討すべき条件  
①校区のねじれを生じさせない

とを原則に、四條畷南小学校の進学先を四條畷中学校から四條畷西中学校へ  
②将来の年少人口の増加に備え、中長期的に四條畷南小学校敷地に義務教育学校または小中一貫校の設置  
③四條畷南中学校敷地に防災拠点となるコミュニティ施設の設置

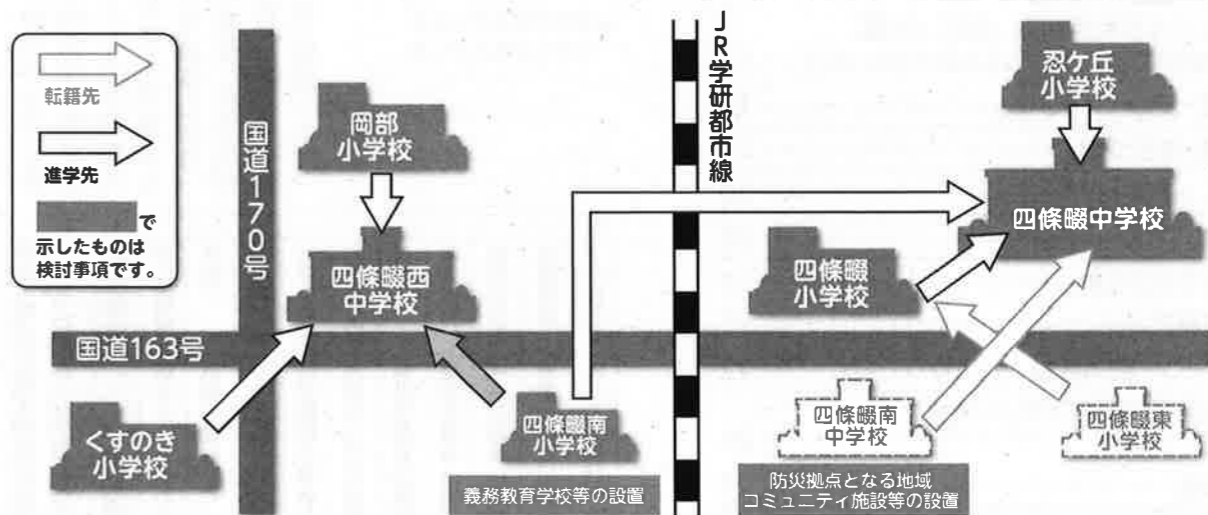
## 右案とした主な理由

- ①土砂災害警戒区域や活断層を踏まえた配置となる
- ②児童が危険性を伴う踏切を渡らなくて済む
- ③学校整備の費用が他家より少なく、エアコンやパソコンなどの整備を充実できる
- ④将来的に、小中一貫校などの選択肢が増える

## 残る課題（左ページをご覧ください）

- ①四條畷南小学校が小規模校として残る
- ②四條畷南小学校から四條畷中学校までの通学が遠い
- ③四條畷中学校のクラスが適正規模（各学年4〜6クラス程度）を超える

## 教育委員会で絞り込んだ案



## 教育長コメント



安心・安全を最優先に学校の再編を検討しています。今回の小中学校の再編について、誰もが「これがベスト」といえる案はありません。

それは、これまで行ってきた数多くの意見交換でも明らかでした。そうしたなか、児童や生徒にとってより良い教育環境にするにはどうすればいいかという思いで、安心・安全を最優先に方向性をまとめました。

なかでも、四條畷東小学校は敷地のすべてが土砂災害警戒区域に指定されています。また、四條畷南中学校は敷地の半分が土砂災害警戒区域に指定されており、その中に活断層があることが確認されました。

土砂災害警戒区域や活断層を避けて、四條畷南中学校敷地に新たな小学校を建てることは可能ではありますが、その場合、新たに危険性を伴う踏切を渡る児童が発生し、将来的に小中一貫校を整備するなどの選択肢が制限されます。

このような多岐に渡る検討が必要でしたが、結論として、四條畷東小学校・四條畷南中学校は廃校とし、四條畷東小学校の児童は四條畷小学校に転籍、とする方向性で今後の議論を進めていきます。

## 意見交換会でいただいたご意見への対応

### 通学・校区

- ①「通学距離を考え、四條畷南小学校区の進学先を四條畷西中学校へとしてほしい」  
一つの小学校から2つの中学校に分かれて進学する校区のねじれが生じないことを条件に、四條畷西中学校への校区変更を検討すべく、地域の皆さんと協議してまいります。
- ②「同じ地区から、1つの小学校に通うようにしてほしい」  
1つの地区内で2つの小学校に通っている地区については、地区のまとまりを前提とした校区となるよう、地域の皆さんと協議してまいります。
- ③「この案になっても通学路の安全対策をしっかりしてほしい」  
PTAや学校からの意見を踏まえ、これまで64台（地区設置などを含めると概ね1000台）の防犯カメラを設置するとともに、4人の見守り人を登下校時に配置しています。今回の再編時にも、保護者の皆さんの意見を伺い、さまざまな対策を検討します。

### 学校のあり方

- ①「四條畷南小学校が小規模校として残るのではないかな？」  
これまで市内に3つの小規模校が存在していましたが、1校であれば教員や支援員などの人的措置を必須に課題への対応と併せ、小規模の特性を活かした取り組みが考えられます。また、仮に上記の校区変更がすべてなされた場合、平成36（2024）年度には現在の6クラスから10クラスとなり、4クラス増えると推定しています。
- ②「魅力ある学校づくりをめざしてほしい」  
中長期的に、四條畷南小学校敷地に小中一貫校もしくは義務教育学校の設置など、魅力ある学校づくりを進めることを検討します。

### 四條畷南中学校敷地の利用

- ①「国道163号以南、JR学研都市線以東に避難できる場所がなくなってしまう」  
学校施設の再編と並行して進めている公共施設再編の個別計画において、教育文化センターを含む四條畷南中学校敷地に、地域コミュニティ活動に寄与する防災拠点を設置する案を作成してまいります。

## 四條畷西中学校の 体育館が完成

昨年より進めていた四條畷西中学校体育館の整備工事が終了し、10月1日（月）から使用を開始します。



- ①体育館内部
- ②ウォーミングアップにも使える広いデッキ
- ③災害用のかまどベンチやマンホールトイレも整備
- ④木目調の内装ベンチも設置

## 各地区・学校で 意見交換会を行いました

学校の再編は地域の重要課題であることから、市民の皆さんとの対話を重ねるため、教育長と市長が各地区・学校へ伺い意見交換会を行いました。児童生徒の安心安全を願う声や、地域住民の防災拠点、地域コミュニティの場についてなど、たくさんのお意見や要望をいただき、活発な意見交換会になりました。

### 実施日

8月6日（月）〜26日（日）

### 参加人数

延べ248人

### 実施地区・場所等

- 11地区（11回）
- 校区PTA（1回）
- 区長会（1回）
- 小学校3校（6回）



▲意見交換会の様子

